

季節性インフルエンザワクチン予防接種の全国費用概況調査について

2020年10月31日(土)

新型コロナウイルス感染症に感染されてしまった方々にお見舞い申し上げます。また、この状況下でも休むことなく働く医療従事者の皆様に心より感謝申し上げます。

その新型コロナウイルス感染症は医療や医学の常識や常態に変化を与え、今後の社会や経済の情勢によっては医療経済も大きな変化が想定されるところであります。

一般的な医療は国民皆保険制度の中で行われる保険診療がほとんどであり中央社会保険医療協議会(中医協)を経て診療報酬が決められているため、全国一律の価格設定がなされています。一方で季節性インフルエンザのワクチン予防接種は自由診療で行われており、多くの国民が接種するため全国の医療機関で施行されています。

そこで、このワクチン接種の費用が地域医療の実情を反映しているのではないかと仮説の下、全都道府県の費用をインターネットで調査しました。

隣接県間でも平均値で1,000円差が出る地域があることが明らかになるなど、今後の医療動向を検討する上で何らかの役に立つのではないかと考えます。

精緻なデータではございませんが、医工連携を推進するコンサルティング企業として、他にはない独自データを収集し、リアリティある医療事業の推進に努めて参ります。

記

標 題 : 季節性インフルエンザワクチン予防接種の全国費用概況調査

方 法 : Google 検索にて『インフルエンザ 予防接種 料金』に都道府県名を付加した4単語で検索した結果の上位から順に医療機関のサイトを開き、成人と13歳未満の費用が表示されているサイトを5件目まで探し、その表示価格を取得した。13歳未満については1回目と2回目の接種費用を取得した。本調査は2020年10月31日に日本国で実施した。

結 果 : 得られたデータをグラフ化した物を次ページ以降に示す。

所 感 : 2,500円超4,000円以下に8割が集まったがその幅は1,500円あり夫婦2人で3,000円も差が出るためこの価格差の理由は更なる調査が必要であると感じた。都道府県別では岩手県が突出して高額であり、その背景を知る事はできなかったが興味深い結果であった。岡山県は東側に接する兵庫県とは20円差、西側の広島県とは1,000円もの差があった。鳥取県や島根県も岡山県に近い費用であったため広島県が医業の競争が激しい可能性もあり、今後の継続調査の必要がある地域であると考え。今回の調査はインターネット検索で上位に表示された施設の費用であるため人口密度や交通利便などは反映されていないため、追加調査が必要であると考え。

問合先 : NES株式会社 お客様係 info@24med365.net

以上

■所見・考察

47都道府県から5施設ずつ集めた235件の度数分布は、2,500円超～4,000円以下に79.6%が集まる結果となった。最頻値は3,000円超3,500円以下で31.5%を占めた。所感ではあるが65歳以上の無償化された予防接種の対応だけでも多忙である施設が4,500円を超える価格設定をしているのではないかと感じた。一方で耳鼻咽喉科や皮膚科など患者層が高齢者に偏らない診療所は比較的価格設定が低いと感じた。

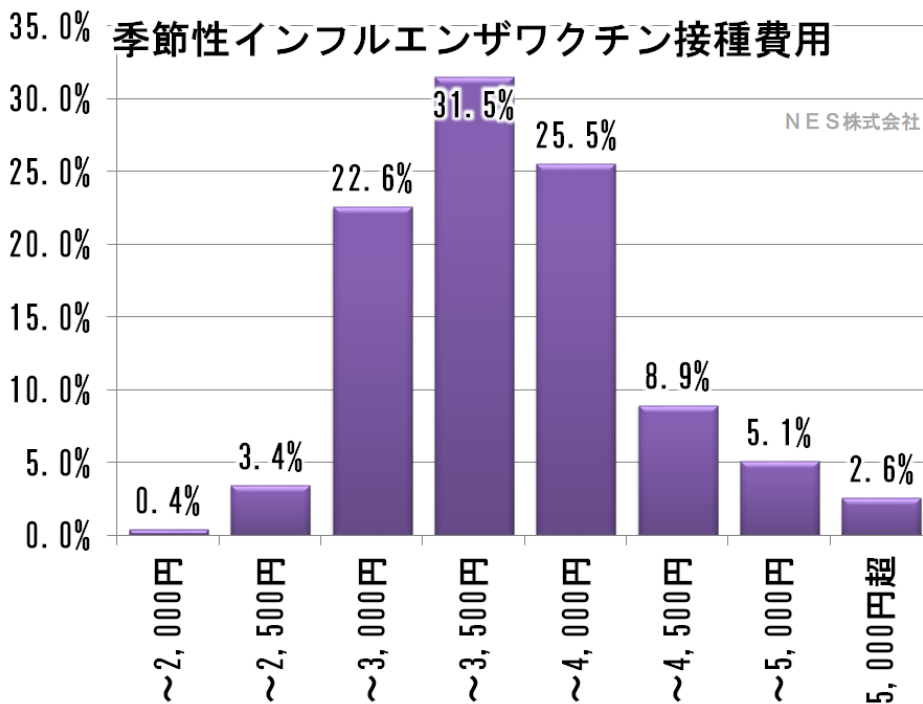
都道府県別では岩手県の平均4,930円が突出しているが、そのような文化が定着している可能性があり、今後岩手県の医療従事者にインタビューを試みることにしている。また、隣県の青森県や秋田県が低価格である事も併せて現地調査を試みることにした。

低価格群としては広島県の2,840円と高知県の2,880円は背景事情も含め調査する必要がある。全国比より安価でも医業が成り立つのであれば、その経営効率には学ぶべき点が多くあると考えられ、医療側の視点とともに患者側の視点でも深く調査する必要があると感じた。

首都圏の1都3県は大差がない結果であったが、関西の2府4県では濃淡が現れた。当社が位置する兵庫県は近隣では突出して高額であった。実感として予防接種の予約は取りづらい状況であり、需給バランスが売り手市場になっている可能性がある。関係先に問い合わせたところ兵庫県内のクリニックでは次回予約は12月上旬であったが、大阪府内では翌週には予約が取れるとの事で、ワクチンの供給量に何らかの関係が垣間見られたが確証は得られなかった。

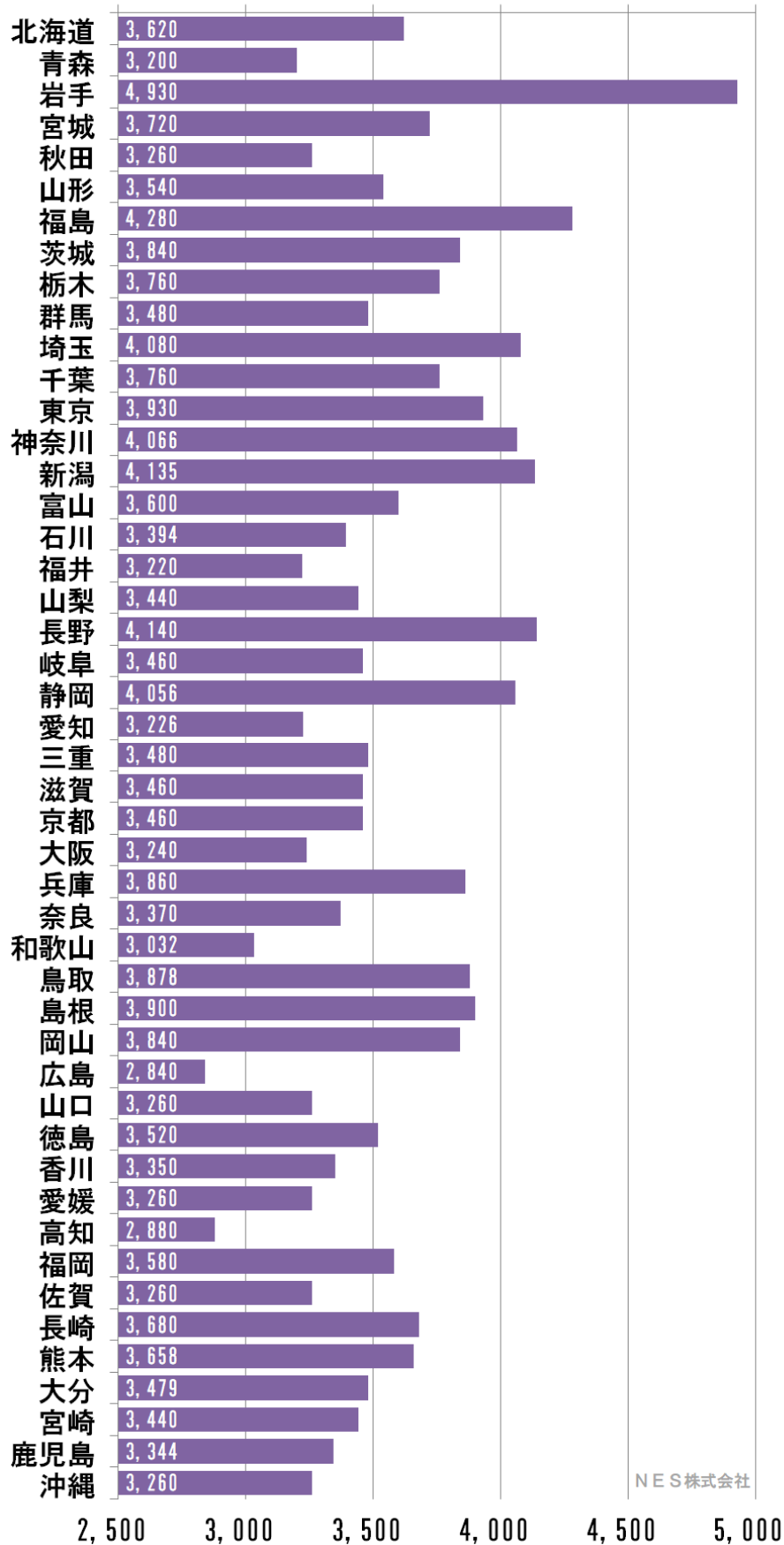
厚生労働省によれば今シーズンのワクチン供給量は1mL換算で3,322万本、1人1回0.5mLとした場合6,644万回分のワクチンが準備される事となっている。今年は特例で高齢者に優先投与したため若年層は10月26日以降の投与開始となったが、その事と需給バランスの不均衡が関係しているか否はわからない。今年に限っては三密回避や人との接触8割減などが推奨されており、高齢者に比して社会に出る機会の多い若年層が予防接種を受けられないという結果にならない事を願うばかりである。

地域で価格差が生じる事は仕方ないが、その差が何を背景としているか今後も調査を続ける考えである。



成人費用のヒストグラム

季節性インフルエンザワクチン接種費用



NES株式会社

成人費用の都道府県別平均額